



八戸の「三春屋」100人解雇へ コロナ拡大で業績悪化

青森県八戸市の百貨店「三春屋」について、運営会社のやまき三春屋（同市）が、直営部分の大幅縮小に伴い、全従業員の約7割に当たる100人近い社員、パートを解雇、雇い止めする方針であるそうです。

三春屋は「新型コロナウイルス感染拡大で業績回復が見込めず苦渋の決断。今後はテナントを重視した営業に特化する」と説明した。今年秋に実施すると表明していたリニューアルオープンは予定通り行うとしている。解雇、雇い止めは9月10日付。希望退職者を募らずに対象者を選び、今月11日に通知したという。やまき三春屋労働組合は「唐突過ぎる。解雇を回避する義務を怠っている」と反発。解雇予告手当の支払いが不要となるぎりぎりの30日前に通告した点も問題視し、上部団体のU A ゼンセンなどの支援を得て団体交渉を行っている。

コロナ禍で様々な業種で厳しい状況が続いている。身近なところにもその影響がでている。今回の三春屋でもコロナの感染拡大が影響し、解雇、雇い止めとなっている。そんな時にたたかえるのは労働組合しかない。JR東日本でもコロナ禍の中で厳しい状況が続いている。今回の三春屋の事象を自分事としてとらえられるのかが、将来の自分の生活を守れるのかどうかになってくると思う。組合に入っていない人は本当に安心して仕事できますか！？不安はありませんか！？誰かに相談することが出来ますか！？

解雇・雇い止めに対応、対抗できるのは労働組合だけです。自分の将来を考え、少しでも労働組合に関心がある、今、どうなっているのかが知りたい方は役員まで相談してください。こんな世の中だからこそ労働組合は絶対に必要です。自分の雇用・賃金・労働環境をしっかりと守るためにJR東労組で一緒により良い会社をつくっていきましょう！！